

コロナ禍の中、白井新体制スタート

令和2年の総会は年の初めから続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が大きく、令和2年度の総会は書面での決議となりました。6月9日の期限で、会員総数91名中、議決権行使書提出数が51名で、第1号議案から第5号

議案まで賛成51、反対0で全ての議案が可決され、令和2年度の月星会のスタートが切られました。

INDEX

定時総会	1
新会長あいさつ	1
新委員長あいさつ	1~2
例会委員会報告	2



ご挨拶

令和2年度月星会
会長 臼井正一

会長の大役を仰せつかる事になり、皆様には多大なる感謝を申し上げます。

会員皆様からみればまだまだ若輩の身でございますが、誠心誠意務めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

人類がここまで反映できた要因の一つは、他社との綿密なコミュニケーション、すなわち「人と人がつながる事」と考えております。

他の動物と違うところは本能的なところは基より意識的につながる事で行動として成してきたからではないかと推察します。

現在のコロナ禍中、人と距離をとる、人を避ける、密をつくらぬという行動が余儀なくされ、「人と人がつながる

事」が今までの常識的な行動では難しくなってきました。

この新しい生活様式での行動を強いられる世の中で、どう行動して行けばいいのかを月星会執行部として考えて行かなければなりません。

まず、私たちが会員企業様にできることは何か？

未来に起こることを予見し、それに対応すべく行動する。

100年後とは言いません、もっと近い未来に起こるべき事の情報を会員企業にお届けすることが我々執行部の使命です。

最新の情報の提供と最新の情報通信技術の活用により、つながる事を恐れない。

それが出来ると確信しております。

執行部も全力をあげて皆様のサポート致します。

木村幹事長並びに内藤副会長までご相談を頂けますと出前講座で対応致します。

会員各位におかれましては、このコロナ禍にあって非常に厳しい経営環境にあると思われませんが、知識や情報の共有をより積極的に実践することにより、ウイルスなぞに負けない、一人も取り残されない環境づくりに邁進してまいります。

新委員長挨拶



例会委員長 鷺見隆仁

今年度、夕食例会委員長の医療法人社団 福寿会 鷺見医院 理事長の鷺見隆仁です。月星会におきまして夕食例会委員長は、2回目になります。

前回の時と比べて大きく異なる点は、新型コロナウイルスの蔓延です。

この、コロナが蔓延している中でどのようにして、会員の皆様及び場所を提供して下さっているみどり鮎様に迷惑をかけず、コロナウイルスが例会より発生しないように3密回避を

心掛け、行うか考えるのに苦労致しました。

しかしながら、私も日頃より、歯科医師として感染防護には、細心の注意を払って仕事をしておりますので、感染防護には、慣れてはおりますが、月星会の夕食例会の形である講師を呼んで話をしてもらい、議員の議会報告等があり、食事を皆で楽しみながら円卓で行うという従来の伝統的なやり方は、苦渋の決断でしたが、感染防護の観点より、大きく変更させて頂きました。

今年度は、感染の拡大状況を注視し、委員一同、臨機応変な例会運営を心掛けて参りますので、会員の皆様におかれましては、参加して頂けますと幸いです。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

新委員長挨拶



研修委員長 小川 智之

今年度、研修委員長に就任しました小川智之と申します。久々に月星会の委員長職を拝命し、若干緊張致しておりますが、しっかり臼井正一新会長を支えていきたいと思っております。

研修委員会は、年に2回の全体研修を担当しますが、1回は新型コロナウイルスの影響で開催できなかった「ほめ達！」の西村先生の研修を再度開催できないか検討したいと思っています。

また、開催に当たってはウィズコロナに対応したオンライン配信と集合の併用型を検討するなど、感染リスクの低い手法を採用していきたいと思っております。

今後、委員会で講師の選定、講演テーマ、開催手法等については議論を深めていくところですが、会員の皆様からも幅広く意見を頂戴したいと思いますので、いいアイデアがありましたら、お気軽に私や委員会メンバーにお声かけいただければ幸いです。

若干不慣れな点もありますが、一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



親睦委員長 中島 美香

月星会員の皆様、こんにちは。今期の親睦委員長を務めさせていただきます中島美香です。

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるい、日本でも感染者の増加が報道される度に第二波の発生が心配されています。

会員の皆様に於かれましても外出の自粛を強いられ、不安とストレスを抱える毎日をお過ごしのことと存じます。こ

の様な状況に於いて月星会員同士の親睦を深める活動を自粛すべきとの意見がある一方で非日常的な生活空間に於いても感染対策を万全に整え会員同士の交流を実施し語り合いたいという声も聞かれます。

私としましては、穏やかで心地よい日常を少しずつ取り戻していきたいとの思いがあり、ソーシャルディスタンスの確保と手洗いやうがい、検温の徹底、マスク着用など、感染回避対策を確実に実施することで安全安心な親睦活動を企画推進してまいりたいと思っております。なにとぞご支援ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。



広報委員長 阿佐 一郎

今年度、広報委員会の委員長の阿佐一郎です。よろしくお願いいたします。コロナ禍の中、各委員会の事業の開催も気を遣いながらとなり、大変な

状況ではありますが、多くの情報を発信できればと思っております。

紙面に関しましては、今だからこそできることを委員会のメンバーと考えながら、お送りしたいと思っております。

原稿の依頼等、お願いいたすこともあるかと思いますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

例会委員会報告

5月例会 令和2年5月22日(木)

於：鯨割烹みどり

令和元年度最後の例会は、コロナ禍のためオンラインでの例会となりました。参加者は10名と少なめでしたが、初の試みとして、有意義なものとなりました。



6月例会 令和2年6月25日(木)

於：鯨割烹みどり

6月25日に新年度初の例会が開催されました。卓話は会員でもある向後保雄市議会議員より、新型コロナウイルス対策として出されている市の施策について、国や県の施策との関連や議論の経緯などタイムリーなお話をいただきました。実に4か月ぶりとなる「みどり鯨」での開催、スクール形式の座席配置やお弁当持ち帰りなどの感染予防対

策を取りつつ、制約の中でも旧交をあたためる姿がこちらで見られました。

7月例会 令和2年7月30日(木)

於：鯨割烹みどり

7月30日の例会は木下英之直前会長(株式会社花道)による卓話でした。月星会に入りたての20代での朝食委員長の経験から順当に役職のご経験を積み重ねられ、会長としても3年、その間に自社の事業についても時代のニーズを捉えて多角化をされてきた歩みの一端に触れ、3年間にわたり月星会を引っ張ってきた木下社長のバイタリティと常に前向きな姿勢の原点を感じました。

